

パブリッククラウドを利用した場合のセキュリティ要件の整理について

概要

学校において、ICTを活用する際には、セキュリティの確保を担保した上で、教育活動における利便性の向上や教員の負担軽減等を実現していくことが求められている。

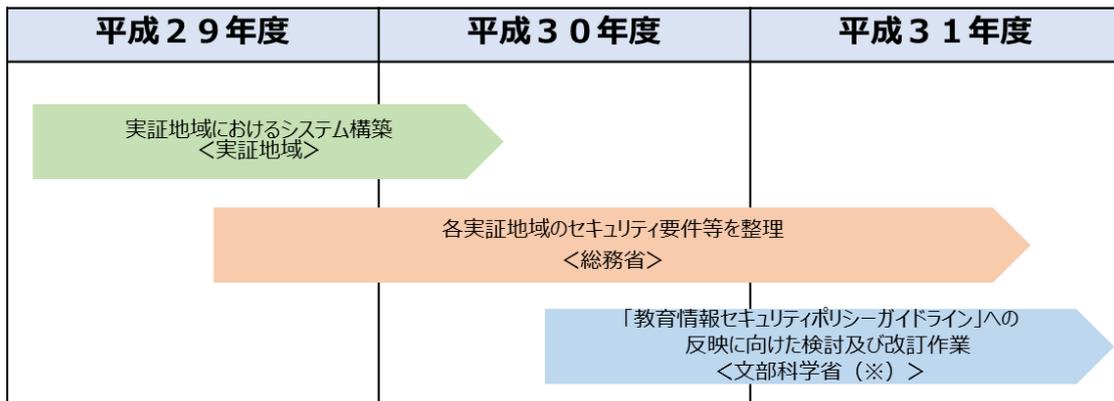
このため、現在、地方公共団体において課題となっている以下の2点について、本実証事業を通じて整理を行うこととしており、その成果を踏まえ文部科学省に設置されている「教育情報セキュリティ対策推進チーム」における審議を経て、「教育情報セキュリティポリシーガイドライン」（平成29年10月文部科学省）（以下、「ガイドライン」という。）の見直しを行うこととする。

- ① インターネットを介したASPサービス（いわゆる「パブリッククラウド」）の利用における留意点
- ② データを活用した学校・学級運営のための、校務系システムと学習系システムのセキュアな連携の在り方

スケジュール

各実証地域及び総務省におけるセキュリティ要件の整理等を踏まえ、平成30年度後半より、ガイドラインへの反映に向けた検討を開始し、平成31年度中のガイドラインの改訂を目指す。

とりわけ、①のパブリッククラウドの利用における留意点については、既に、多くのサービスが提供されており、かつ、学校にとっても、教材の多様化につながることから、平成30年度から検討を開始し、早期にガイドラインの見直しを行うこととしたい。



（参考：本事業における実施体制図 省庁間部分抜粋）

